

[<< 前に戻る](#)

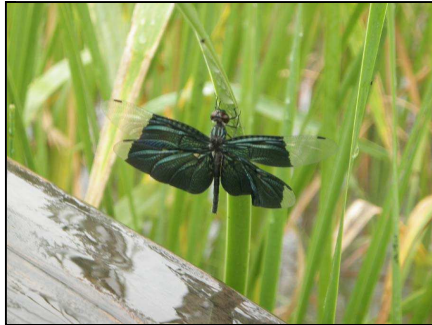
ビオトープ 萩の台公園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

6月の定点観測

(2011年7月4日 掲載)



雨の日のチョウトンボ

「これは、『チョウトンボ』というトンボですよ」と教えてあげると「こんなトンボは見たことない」ベテランスタッフさんが驚いていました。

チョウトンボの見られる時期は、6月～9月頃で夏の風物詩といえるトンボです。

特徴は、黒褐色で青紫色の光沢があります。ひらひらと舞う姿が蝶のように美しいことから名づけられました。光の角度によって虹色に光り、優雅に舞う姿は見る人を楽しませてくれます。



晴れの日チョウトンボ



チョウトンボとショウジョウトンボ

水生植物(ヒシ、ヨシ、カヤツリグサ科植物のいずれか)が繁茂していた池に生息するそうです。近年、薬剤散布などによって激減しているようで、関東では絶滅危惧種Ⅰ、絶滅危惧種Ⅱ類に指定されている県もあります。

雨の時は上のような姿でとまっていることが多いチョウトンボ。雨の日でも観察が飽きないトンボです。

今の時期、主にショウジョウトンボとチョウトンボが見れます。みなさんも一度トンボ池にお越しください♪

それでは、6月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 6月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150
TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.

[<< 前に戻る](#)

ビオトープ 萩の台公園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

7月の定点観測

(2011年8月8日 掲載)

とても暑い日が続いていますが、皆様どうお過ごしでしょうか。

トンボ池には、トンボやキアゲハ等の蝶、様々な動植物が見られます。
7月の定点観測では、ウシガエルと思われるオタマジャクシ観察できました。



ウシガエル

◆ウシガエル◆

ウシガエルは、アカガエル科アカガエル属。体長11～18センチで他のカエルと比べて大きなカエルです。

オスの背中上は、暗緑色で、淡黒色の斑紋がまばらにあり、メスの背中上は褐色で、斑紋がオスよりも多いそうです。目の後ろにある鼓膜が非常に大きくのが特徴です。

ウシガエルは、夜行性で、警戒心が強く外敵が近付くとすぐ池の中に逃げ込み昼間はなかなか姿を見る事ができません。

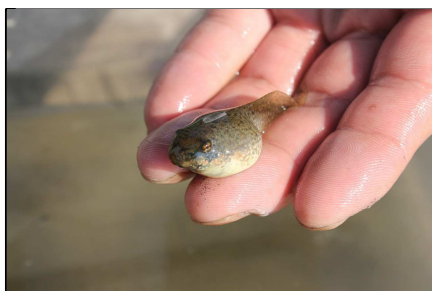


底の方に潜っています

名前の由来でもある牛のような鳴き声。トンボ池では4月～6月の間、ガマ集落を中心に「ブオー、ブオー」と大きな鳴き声が池全体から聞こえていました。

おそらく、その時期が繁殖時期だったのでしょうか。
鳴き声が収まったと思ったら、大きなオタマジャクシを発見！！

6cm弱の大きなオタマジャクシ。動く姿も素早い！！
おそらく、他のオタマジャクシよりも大きく成長も遅いことからウシガエルのオタマジャクシと思われます。数え切れないほどたくさんいました。



1年かけて成体になります

ウシガエルは、大型で極めて捕食性が強く、口に入る大きさであれば、ほとんどの動物が餌となることから、在来種を捕食してしまうことが懸念され、2006年外来生物法により特定外来生物に指定されています。

園内でもウシガエルの捕獲を試みっていますが、警戒心が強く動きも速いことから、なかなか捕まえる事ができません。

せめて、成体になる前にオタマジャクシの捕獲対策を練っている状況です。

それでは、7月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 7月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150
TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.

[<< 前に戻る](#)

ビオトープ 萩の台公園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

8月の定点観測

(2011年9月10日 掲載)

朝夕はずいぶん涼しくなってきましたが、皆様どうお過ごしでしょうか。萩の台公園では、コオロギや赤トンボが徐々に見られる季節となりました。さて、今回は5月頃から生えてきた謎の水草についてのお話です。



謎の水草

◆ 謎の水草 ◆

今年の2月に改修工事で、土を掘り返した場所は土と水しかない真っさらな池になりました。そこに、徐々に生き物やガマやヨシの抽水植物が出現してきました。

水位観測の④番地点を中心に晴天が続き、5月初めごろから謎の植物が水と陸地の間(エコトーン)から生え始めました。それはいったい何でしょう?? 先日行われました生き物観察会で判明しました!

謎の水草の正体とは「イトモ」です。イトモは、ヒルムシロ科の植物で、湖沼、溜池、河川、水路などで沈水状態で生育する多年草。実は大きな植物に見えますが、写真のように長さ幅1mm、長さ2cm~6cmの細長い茎が複雑に絡まっています。すくいあげた時は、茎がワカメみたいにかたいです。1節置きに水中茎を伸ばし、水底に沈んで越冬するそうです。6月~8月ごろに果実を実らせませす。



イトモ



イトモがあるところは、アオミドロが少ない

はじめは、エコトーンの区域に生え始めたので陸地の植物だろうと思い、水位が上がって水域も広がってきたら、姿を消すだろうと思っていました。それが、水域が広がっても姿を消さず、逆に広がっていったので、外来種なのではと心配していました。

環境アドバイザーの金丸 文昭先生は「昔からある水草。今あるイトモがこれより増えすぎない位に管理していけばよいと思う。水草がある事により、アオミドロの増殖を抑える効果があり、新たな生育環境ができたので、また違う生き物やトンボが飛んでくるのでは。」とおっしゃっていました。

近年では、水域の埋め立てや改修工事、水質汚濁によって生育地が減少しており、宮崎県ではレッドリスト絶滅危惧 I 類(CR+EN)にされています。環境省でも、準絶滅危惧(NT)に指定されており、全国的に減少しているようです。

それでは、8月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 8月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150

TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.